

第4次日野市立図書館基本計画(素案)に関する パブリックコメント結果とご意見への回答

令和5年3月

日野市立図書館

パブリックコメントの概要

○第4次日野市立図書館基本計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施しました。実施概要は以下のとおりです。

実施期間	令和4年12月20日(火)～令和5年1月20日(金)
公開資料	第4次日野市立図書館基本計画(素案)
素案閲覧場所	・日野市立図書館(各館)、七生支所、豊田駅連絡所における素案の設置 ・図書館ホームページに掲載 ・日野市ホームページに掲載
募集結果	提出者数:4名 意見数:計12件

ご意見と回答

No.	項目	ご意見	回答
1	第1章 計画の概要 3 計画の策定体制	【p. 8】 アンケート以外の個別インタビューをどの程度しているのか不明だが、ぜひきめ細かい調査してほしい。 良く使う少数者、たまに使うグループ、全然使わない多くの人々。それぞれの分析と何を提供すべきかの目標が見えない。	ご意見ありがとうございます。 アンケート以外の手法として、市民ワークショップの実施(小・中学生を含む17名が参加)や、第4次日野市立図書館基本計画策定委員会メンバーのうち半数(10名中5名)を公募市民で構成すること等で、広く市民ニーズの把握に努めてまいりました。 また、アンケートの実施にあたっては、未利用者の意見収集にも力を入れ、図書館ホームページや市のLINE等を含めた広報を行いました。調査結果については、年齢や職業、よく利用する図書館別のほか、利用状況別の分析を行い、特に未利用者の意見に着目しました。第4次日野市立図書館基本計画では、利用者へのアプローチを課題と捉え、「基本方針1-1資料・情報の収集」に記載したデジタル資料の充実や、「基本方針5-2利用につながる図書館情報の発信」をはじめとする利用者のすそ野拡大といった取り組みを推進してまいります。(アンケート調査の概要はデータ集に記載いたします。調査結果の詳細については、図書館ホームページにて公開中の「日野市立図書館アンケート報告書」をご覧ください。 https://www.lib.city.hino.lg.jp/library/basicplan/plan4/index.html) 計画の文言等はそのままとします。
2	第2章 日野市立図書館の現状と課題 3 データでみる図書館の現状	【p. 12】 図書館の現状をどう捉えたのかが読み取れない。例えばp12の蔵書数と貸出数の対比は、興味深いデータだが、中央図書館と多摩平の分析は示されていない。利用年代層と蔵書分野の分析などが必要ははず。高幡、百草など分館がいくつかあるが、蔵書の傾向は見えない。例えば歴史はここ、最近の小説はあそこなど。	ご意見ありがとうございます。 図書館の現状の捉え方については、サービス実績データの他、第3次日野市立図書館基本計画の取組状況の検証やアンケート結果等を総合的に踏まえた結果を、p. 17「2 新たな課題のまとめ」に記載しております。 各館ごとの貸出冊数などは、本計画のデータ集に記載します。 基本的にどこの地域館でも同じようにサービスを受けられるよう、地域資料を除いて蔵書の傾向を設けることはしていません。ただし、各地域館ごとにそれぞれの地域の特性を活かし、特色ある資料や、周辺地域情報コーナーの設置等を行っています。 計画では、p. 32 基本方針2-1「特性を活かした地域館の取り組みの充実」にあるように、地域の魅力・特長の発信や、地域情報の発信、また地域館ごとの取り組みの充実を推進してまいります。 計画の文言等はそのままとします。
3	第3章 基本理念と基本方針 3 重点プロジェクト	【p. 20】 つなぐ「わ」プロジェクトが具体的に展開されることを楽しみにしています。	ご意見ありがとうございます。 つなぐ「わ」プロジェクトは、今後5年間で特に重点的に取り組む項目を具体的に示したものです。ご期待にお応えできるよう、取り組みを推進してまいります。
4	第4章 計画の内容 基本方針1 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します 1 資料・情報の収集	【p. 28 ①蔵書の充実】 常に課題として上がると思う。私はwebの東京都図書館横断検索をしばしば利用するが、日野市と府中市では、検索結果がしばしば5倍程度違うのが実感だ。ここ半年府中市立中央図書館が工事中で、市外の利用ができないのはとても残念だ。【注：府中「市立」を事務局で加筆】	ご意見ありがとうございます。 p. 28-29「基本方針1-1資料・情報の充実」に記載しておりますように、より一層の蔵書の充実に努めてまいります。 計画の文言等はそのままとします。

No.	項目	ご意見	回答
5	第4章 計画の内容 基本方針1 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します 2 貸出・予約・レファレンスサービスの充実	【p. 30 ②予約・リクエストサービスの向上】 居住地以外の自治体への貸出サービスは、webから利用しづらく、取り寄せに数週間かかる。これを3日程度にする目標を計画してくれば、とても嬉しい。Web予約は便利に利用しているが、同じような入口から他自治体への取寄せも提供して欲しい。 受付メールより揃いました通知が必要だが、amazonの配送状況のようなもので十分だと思う。 返却日通知メールを提供している図書館もある、便利だと思う。 近接市の図書館カードでポケット一杯になるので、スマホで管理でき、ポータルから予約できるサービスを検討して欲しい。大きな流れとして人口減で暇な年寄りの図書館利用が増えると思うので、広域の図書館サービス、電子データの提供も含めて必要となると思う。	ご意見ありがとうございます。 相互貸借については、都立図書館及び周辺自治体との連携で借用サービスを提供しています。計画では、p. 30「基本方針1-2-②予約・リクエストサービスの向上」のなかで「日野市立図書館で入手できない資料(絶版本や品切れ本など)について、他の自治体の図書館との連携・借用により、速やかに提供できるよう努めます。」と記載しているように、引き続き周辺自治体との連携を推進してまいります。 また、「所蔵資料の予約について、図書館電算システムの更改とあわせて、Webでの受付・通知の強化を図ります。」と記載しており、ご指摘の点も踏まえて取り組みを推進してまいります。 統合検索(都内の横断検索)や相互貸借の搬送については、都立図書館が行っています。日野市単独の取り組みではないため計画に明記することは難しいですが、市民ニーズに応じた充実が進むよう、働きかけを行ってまいります。 計画の文言等はそのままとします。
6	第4章 計画の内容 基本方針1 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します 2 貸出・予約・レファレンスサービスの充実	【p. 30 ③レファレンスサービス・読書相談サービスの充実】 レファレンスサービスは、図書館で質に差がある。コールセンターの様な事例の蓄積が必要と思う。ただし人的資源の再配分が必須なので、貸出返却処理の省力化が求められる。	ご意見ありがとうございます。 事例の蓄積については、日野市立図書館ホームページにおいて公開している「レファレンス事例集」の作成に、今後も継続して取り組みます。 また、p. 30「基本方針1-2-③レファレンスサービス・読書相談サービスの充実」のなかで「市民が自ら調べ、学習し、課題を解決するために、資料の充実を図ります。また、市民が疑問や悩みを抱えたときに、自ら調べることができ、職員が相談に応じられるような体制を整えます。」と記載しているように、ご指摘の点も踏まえた職員体制と職員研修の充実にも取り組んでまいります。 計画の文言等はそのままとします。
7	第4章 計画の内容 基本方針2 本・人・地域をむすび、地域の文化を支える拠点となる図書館をめざします 1 特性を活かした地域館の取り組みの充実	【p. 32~】 「市民の文化の拠り所となる地域の図書館」を居場所としても必要としている地区(人)は、この計画書で展開されている「ひまわり号」のサービスエリアにもあると思われます。図書館サービスがはじめられてから半世紀以上経つ現在、地域の様子も当時から大きく異なっています。既得として高められる地域サービス計画の他に地域の課題解決の拠り所として必要とされる図書館を探り続ける計画を加えていただきたい。 まずは、地域全体を見直してみることも大切だと思います。 「目指すべき(理想とする、これからの)図書館網計画」の調査など。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の点については、建物の図書館を補完する役割を担う「移動図書館「ひまわり号」(p. 39)のめざすべき姿と具体的な取り組みのなかで、「各巡回先の利用者ニーズを把握し、既存巡回先のサービスの見直し、新規団体の巡回について検討します。」と記載しているように、地域の現状把握や、地域の変化に応じたサービス網の充実に努めてまいります。 計画の文言等はそのままとします。
8	第4章 計画の内容 基本方針2 本・人・地域をむすび、地域の文化を支える拠点となる図書館をめざします 1 特性を活かした地域館の取り組みの充実	【p. 32 ③地域館ごとの取り組みの充実】 ・(9)想像図書館一動かない図書館がない地域 利用者の特徴 ・調査による。 目指すべき姿と具体的な取り組み ・「市民がつくる地域図書館基本計画」のサポート 市民が主体となり地域に必要とする図書館を自ら考えてみる機会、概念実証の試みです。図書館資料を活用し地域を調べ、〇机で人が頭を寄せて意見を交換している「環」のイメージから始まります。	ご意見ありがとうございます。 計画の策定にあたって実施した「市民ワークショップ」では、参加者が2グループに分かれて机を囲み、「図書館の「いいところ」、「取り入れたほうがいいと思うこと」を考えよう」「みんなの希望がかなった理想の図書館のキャッチコピーを考えよう」の2つをテーマに、参加者同士が意見交換できる場を設け、計画策定の基礎資料とさせていただきます。 p. 52「基本方針6-4-②」にもありますように、図書館運営については、市民からの意見・要望の聴取に努めるとともに、今後も市民が主体となり、意見交換できる場を設けていきたいと考えています。 計画の文言等はそのままとします。

No.	項目	ご意見	回答
9	第4章 計画の内容 基本方針3 だれもが利用しやすく、魅力のある図書館をめざします 2 すべての人に届くサービスの充実	【p. 45 ⑥ICTを活用したサービスの充実】 検索サービスで、ぜひ目次まで見えるようにして欲しい、特に全集は必須だと思う。	ご意見ありがとうございます。 出版年月の新しい蔵書は、目次等の表示の対応が進んでいます。一方、古い蔵書については、日野市としてすべての蔵書に対応することは難しい状況です。しかし、ご意見いただきました全集等のデータについては、国立国会図書館等のサービスを利用することでご覧いただくことができます。図書館ではレファレンスサービスの充実を図ることで、市民の皆様への情報提供に努めてまいります。 国立国会図書館オンライン https://ndlonline.ndl.go.jp/#/ 計画の文言等はそのままとします。
10	その他	図書館や公立学校の司書の給与があまりにも低いことが社会問題になっている。「学びの土台」ともいえる図書館や学校図書室で働く方々の生活が保障されるようにと思う。	ご意見ありがとうございます。 職員の雇用制度・給与等の具体的なことは、基本計画の中で触れられる内容のものでないことをご理解願います。しかし、より一層充実した図書館サービスを提供するためには、専門的な知識を持った人員の確保が重要と考えており、今後も職員の良好な職場環境づくりに努めてまいります。 計画の文言等はそのままとします。
11	その他	計画から何が変わるか読み取れない。だれに何を提供するかという、視点が欠けている。	ご意見ありがとうございます。 p. 54「3 取り組み一覧表」のなかで、本計画から新たに実施する項目と実施年度を記載しています。図書館サービスの基本となる取り組み等については、これまでの取り組みの継続となる項目も多いですが、その中でも本計画期間中に特に力を入れる取り組みを明確にするため、「重点プロジェクト～つなぐ「わ」プロジェクト～」を掲げております。 また、対象者ごとのサービスについては、「基本方針3-1 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み」、「基本方針3-2 すべての人に届くサービスの充実」のなかで、具体的な取り組みを記載しております。 計画の文言等はそのままとします。
12	その他	中央図書館が開設50周年となることから、国の登録有形文化財への登録を検討してください。(要旨)	ご意見ありがとうございます。 令和5年に中央図書館は開設50周年を迎えます。今後も、市民の「知のひろば」として皆様に親しまれるよう、読書や図書館に関するイベントや、図書館のPRに努めてまいります。 中央図書館を国の登録有形文化財へ登録することについては、市立図書館単独の取り組みではなく、基本計画の中で触れられる内容のものではありません。今後、日野市として施設の老朽化対策や保存を検討する際に参考といたします。 計画の文言等はそのままとします。